

かんきょう再生ニュース

《東京第一教区》 <http://homepage3.nifty.com/souaikai-tokyo/>
《どんな情報でも10件有ると言う事は私達の明るい未来の為に10+のヒントが内在して居るかも知れません。》

この情報はインターネットより、資料として収集致しました。各々マスコミ各社の著作権が有ります。大量に印刷する等は、ご連絡願います。誌友会等の環境問題に関する参考となれば幸いです。



相愛会環境問題編集部

平成17年 7月2日発行 第014号

《環境》大手機械メーカー某旧神崎工場の周辺住民の死者が34人に達し、うち31人はアスベスト(石綿)被害の指標となる中皮腫だったとされる問題について、小池百合子環境相は19日の閣議後会見で、某社が実施する被害者の職歴調査を参考に、厚生労働省や地元の保健所とも協力しながら実態把握を急ぐ考えを明らかにした。同省は都道府県に対し、同様の住民被害の有無などについて8月10日までに報告するよう求めている。(毎日新聞) 7月19日

《環境》プッシュ米大統領は18日午前、訪米したインドのシン首相とホワイトハウスで会談、両首脳はインドが米側に強く求めてきた原子力発電の技術提供を含むエネルギーや宇宙開発、軍事など幅広い分野での協力関係強化を盛り込んだ共同声明を発表した。これにより、1998年のインドの核実験で冷却化した両国関係はほぼ全面的に修復。双方は台頭する中国をにらみ「戦略的パートナーシップ」が新たな段階に入ったことを確認した。(共同通信) 7月19日

《環境》政府は18日、今月下旬に北京で開かれる北朝鮮の核問題をめぐる6か国協議で、北朝鮮に対し、核兵器計画だけでなく、平和利用目的の核開発も認めないことを北朝鮮以外の5か国の共通目標とするよう、各国に働きかける方針を固めた。(読売新聞) 7月19日

《環境》京都大フィールド科学教育研究センターは19日、NPO法人「エコロジー・カフェ」と、由良川(京都府)や古座

川(和歌山県)での環境教育や情報発信に向けた協力協定を結んだ。エコロジーカフェは昨年8月に、バンダイ元会長の山科理事長やIT企業のトップなどの経済人やスポーツ選手らで設立。小笠原でのアオウミガメ保護活動やインターネットを活用した環境教育の開発などに取り組んでいる。同センターの田中克センター長は「森と里と海をつなぐ教育研究と地域連携を、世界に発信していきたい」と話している。(京都新聞) 7月19日
《エネ》アプライアント農業相は、カリマンタン島の850キロメートルにわたるマレーシア国境沿いに世界最大のパームヤシ大規模農園と精製工場を開発する計画を示した。2010年に生産を開始し将来的に年産270万トンを目指す。バイオディーゼル燃料への転用も視野に入れるという。向こう5年間に5兆5,000億ルピアを投じ50万人以上を雇用するとした。(NNA) 7月19日
《環境》水質浄化をアピールする「諏訪湖で泳ごう2005」が18日、諏訪市の湖畔公園-初島の約200メートル区間で開かれた。アオコの発生もみられたが、参加者は「気にならない。楽しく泳げた」と満足。梅雨明けの夏空に水しぶきをきらめかせた。諏訪湖の水泳大会は復活前、1980年代まで続いていた。参加者最高齢で、当時を知る松本市並柳の伊藤喜良さん(78)は「水から出ると体にアオコがべったり付いた。今は水が口に入っても嫌な感じがしない」と浄化を実感していた。(中日新聞) - 7月19日
《エネ》京都のNPO法人環境安全センターは18日、廃棄物

<http://tokyo.cool.ne.jp/nisankatanso/saku.html>

教育110番
百戦錬磨! 鎌先生のサイト!

・リサイクルセミナーを京都市中京区の京都商工会議所で開いた。環境NGO(非政府組織)代表が講演し、政府が進めている廃プラスチック焼却による排熱利用の有効性に疑問を投げかけた。昨年度から始めた公開セミナーで、本年度3回目。環境NGO「止めよう! ダイオキシン汚染・関西ネットワーク」の山崎清代表が講師を務めた。自治体関係者ら約20人が聞き入った。廃プラをめぐっては、国が排熱利用のため可燃ごみ扱いする方向で検討している。山崎代表は、高温で燃焼すれば重金属が出やすいとしたうえで「リサイクルが難しいから燃やすのでは分別の流れに逆行する。国は根本的解決を目指すべきで、ごみ問題から逃げている」と批判した。(京都新聞) 7月19日
《環境》京都市南区の鴨川で18日、川にすむ生物を調べて水質をチェックする「不思議の国日本/鴨川探検」が行われた。児童や保護者たちが、鴨川に入って水生生物をつかまえ、水のきれいさを実感した。「きれいな水」の指標生物とされるヒラタカゲロウやヤマトビケラなどが最も多く見つかった。(京都新聞) - 7月19日
夏休みを迎え、小中学生を対象にした、環境、エネルギー関連のイベントが増えてきた様だ。これらの問題は、幼少年時代から価値観、感性として刷り込む必要が有ると思う。

<http://homepage2.nifty.com/6789/kyo.01.html>

父親教室
お父さんがんばって!

教区大会9/25(日)千代田区公会堂へ行こう!!

夏休み前の特別企画、環境問題専門のサイト紹介
かんきょう再生ニュースバックナンバー
<http://homepage2.nifty.com/6789/untitled.kankyo.html>
当情報紙を創刊から掲載しています。